

重富校区の歴史探索

岩剣城跡(剣の平)



校舎の後ろの山(頂上近く)が岩剣城跡です。義弘が3年間在城したと伝えられています。その後、学校のある麓に平松城を築きました。

野面積みの石垣



大河ドラマ「篤姫」や「西郷どん」のテレビ番組の撮影にも使われました。

手水鉢(ちょうずばち)つくばい



手を洗う水を入れておく鉢

館の馬場



幅11m, 長さ約275mの1直線の道。学校前には桜が植えられており地域の人がお花見をされることもあります。

布引の滝(ぬのびきの滝)《校区》



幅2m、高さ20m、白布をかけたように見えることから名付けられました。

越前島津家墓地《校区》



墓地には16代島津忠紀以下の歴代当主とその家族(33墓)が葬られている。また明治20年に起こった西南戦争に重富から薩軍側として従軍し、戦死した人々の霊をまつた招魂石もあります。

大口筋白銀坂《校区》



始良市脇元から鹿児島市牟礼ヶ岡までの石畳残る旧街道です。

白金酒造《校区》



明治2年から続く白金酒造。石蔵の中では昔ながらの製造方法で手づくりの焼酎をつくっています。



岩剣神社《校区》



今から500年程前に蒲生の殿様が自分の氏神として大黒さまをまつりました。戦国時代には、岩剣城にたてこもる蒲生氏を島津義弘が攻めますが、なかなかおちないので、岩剣神社のご神体を自軍にもっていき祈ったところ、さしもの岩剣城もかんらくしたそうです。

岩剣城跡から見た風景《校区》



岩剣城跡(剣の平頂上)から見た風景です。登るのはちょっと大変です。